

〈セミナーのご案内〉

● 今回配布先を限定しておりますので、関係各位へのご回覧につき、ご高配をお願いいたします。

| | | | | |
|---|--|--|--|--|
| 回 | | | | |
| 覧 | | | | |

高等教育活性化シリーズ 409 (通算 741 回)

選択・集中&連携シナリオ

開催延期です

新・教職課程の教学展開と質向上

～ 学校現場からのニーズ/教員養成教育の深化/認定基準の改革動向 ～

- ※ 新時代の初中教育～教師・教職課程は/教職課程の基準の改革動向/内部質保証と第三者評価
- ※ [愛知大] 学生ニーズの変容と充足/センターの役割と学部教育/学内外連携による質保証
- ※ [国士館大] 免許取得・就職状況/教職支援室・アドバイザーの役割/教育委員会との連携
- ※ [玉川大] 16 単位 C A P 制・128 単位内での養成/4 年間を通した指導・支援/質保証評価

● 講師陣 ●

加島 大輔 氏 / 愛知大学 教職課程センター 副所長 文学部 准教授
 山室 和也 氏 / 国士館大学 教職課程運営センター 副センター長 文学部 教授
 森山 賢一 氏 / 玉川大学 大学院教育学研究科 教育学部 教授
 中央教育審議会 教員養成部会 臨時委員
 教職課程の基準に関するワーキンググループ 委員
 高橋 正彦 氏 / 玉川大学 教師教育リサーチセンター長

2020 年 3 月 26 日 (木) 剛堂会館 (明治薬科大学) 会議室 (東京・麹町)

地域科学研究会
高等教育情報センター

日時: 2020 年 3 月 26 日 (木) 9:40 ~ 16:30
 会場: 剛堂会館 (明治薬科大学) 会議室 (東京・麹町)
 千代田区紀尾井町 3-27

アクセス: 東京メトロ有楽町線 「麹町駅」1 番出口より
 徒歩 4 分、または JR 中央・総武線「四ツ谷駅」
 麹町口より徒歩 10 分

※受講証及び会場の地図の送付をもって参加受付となりますので、必ずご確認ください。

参加費: A. ご一名 (資料代込) 42,000 円 (税込)
 B. メディア参加 (資料・音声 CD 送付) 43,000 円 (送料、税込)
 C. 高等教育同人 (☆) 22,000 円 (税込)

- ※ メディア参加とは会場に来られない方の参加形式で、開催後に当日配布資料及び音声 CD を送付します。
- ※ なお、当日参加とともに、音声 CD をご希望の方には、特別割引いたしますのでお問い合わせ願います。
- ※ 参加費の払い戻しは致しません。申込者の都合が悪いときには代理の方がご出席ください。
- ☆ 高等教育計画経営研究所同人は KKJ の HP でご確認願います。

申込方法: 参加申込書に所要事項を記入のうえ、
 FAX または E-mail にてご送付ください。

支払方法: 銀行振込・郵便振替・当日払いがあります。
 みずほ銀行麹町支店 普通 1159880
 三菱 UFJ 銀行神田支店 普通 5829767
 三井住友銀行麹町支店 普通 7411658
 郵便振替 00110-8-81660
 口座名 < (株) 地域科学研究会 >
 ※ ご請求なき場合は振込受領書を領収書に代えさせていただきます。

申込先: 地域科学研究会・高等教育情報センター
 東京都千代田区平河町 2-3-10 ライオンズ平河町 101
 Tel: 03(3234)1231 Fax: 03(3234)4993 〒102-0093
 E-mail: kkj@chiikikagaku-k.co.jp
 HP: <http://www.chiikikagaku-k.co.jp/kkj/>

キリトリ線 (※参加申込みの折は必ずお送りください)

研修会参加申込書

高等教育活性化シリーズ 409

新・教職課程の教学展開と質向上

(□に✓印を) □当日参加 □メディア参加

勤務先 _____

支払方法 □郵便振替 □当日払い □銀行振込

所在地 〒 _____

必要書類 □請求書 □見積書 □領収書

(請求書等記載の宛名) _____

連絡部課・担当者名 _____

TEL _____ FAX _____

メールアドレス _____

| 参加者氏名 | 所属部課役職名 | メールアドレス |
|-------|---------|---------|
| | | |
| | | |
| | | |

※この個人情報、本セミナーの一連の業務及び今後のご案内に使用させていただきます。

| 時間 | 講義項目 |
|------------|---|
| 9:40 } | <p>□ [愛知大] 教員養成と教職課程センターの役割 ～ 学内の組織・支援体制と学外・学校現場との「連携」の模索 ～</p> <p style="text-align: right;">愛知大学 加島 大輔</p> <p>1. 教職課程センターの役割と本学固有の事情 (1) 従来の教員養成体制の問題点 (2) 設置計画の推移・学部専門教育との関係性 (3) カリキュラムと学生指導双方の充実をめざす組織 (4) センター設置と学内の反応</p> |
| 11:00 | <p>2. 学生ニーズの充足と「大学における教員養成」の質的確保 (1) 学生支援体制の向上 (2) 地域連携活動と教員採用への支援 (3) 教職志望者層の変容と学内の視線の変化 (4) 「大学における教員養成」の模索</p> <p>3. 教職課程の「質保証」を含む体制とその課題 (1) センターの存在感をベースにした組織体制 (2) 人的な関係性が基盤の学内理解 (3) 学校現場のニーズと参入者としての教員志望者 (4) 組織・支援・カリキュラムの不断の模索 (質疑応答)</p> |
| 11:10 } | <p>□ [国士館大] 教員養成と教職課程運営センターの役割 ～ 教職支援室・アドバイザーの設置と各教育委員会との連携 ～</p> <p style="text-align: right;">国士館大学 山室 和也</p> <p>1. 国士館大学における教員養成と教職課程運営センター (1) 本学における教員養成の現状 (2) 教職課程運営センター設置について</p> |
| 12:30 | <p>2. 教職支援室と教職支援アドバイザー (1) 教職支援室の開室の経緯とこれまでの実状 (2) 教職支援アドバイザーの役割 (相談業務と支援) (3) 教職特別講座について (「楓教育会」との共催) (4) これからの課題</p> <p>3. 各教育委員会との連携 (1) 連携のための協議会等 (2) 採用に関わる連携 (大学推薦/自治体の養成プログラム) (3) ボランティア・インターンシップ等 (4) これからの連携の在り方 (質疑応答)</p> |
| 13:30 } | <p>□ 教職課程の質保証向上と質保証評価 ～ 教員養成、教職課程認定の改革動向 ～</p> <p style="text-align: right;">玉川大学 森山 賢一</p> <p>1. 新しい時代の初等中等教育の在り方 (1) これからの学びを支える ICT や先端技術の効果的な活用について (2) 義務教育9年間を見通した教科担任制の在り方について (3) 教職課程の在り方について (4) 教師の在り方について</p> |
| 15:00 | <p>2. 教職課程の基準 (1) 教職課程水準の維持・向上の効果的・効率的な実施のための基準の在り方について (2) 複数の学科間・大学間の共同による教職課程の実施体制について (3) 小学校教員資格認定試験の見直しについて</p> <p>3. 教職課程の質保証評価 (1) 実地視察 (2) 質保証評価に関する動向 (3) 内部質保証と第三者評価</p> <p>4. フラッグシップ大学 (質疑応答)</p> |
| 15:10 } | <p>□ [玉川大] 教員養成の質向上に向けた玉川大学の取り組み ～ 教師教育リサーチセンターによる全学体制での運営の現状と課題 ～</p> <p style="text-align: right;">玉川大学 高橋 正彦</p> <p>1. 教員養成における単位の実質化への取り組み (1) 本学カリキュラムの特徴 (2) 16単位CAP制と教職課程科目 (3) 教職課程の質保証</p> |
| 16:30 | <p>2. 4年間を通じた教職課程指導・支援体制 (1) 1年次からの教員養成と教職課程受講支援プログラム (2) 各学年における教職課程受講支援プログラムの概要 (3) 1年次の主な教職課程支援講座 (4) 1年次生への参観実習の導入</p> <p>3. 教員養成の質向上に向けた教職課程の全学体制による組織の運営 (1) 教師教育リサーチセンターによる全学学生支援 (2) 教師教育リサーチセンターによる研究活動の推進</p> <p>4. 教員養成の質保証評価への取り組み 5. 大学院での教職課程の充実と課題 6. 「質の高い教員養成」に向けた今後の課題 (質疑応答)</p> |